

大阪複十字病院だより

すこやか

大阪病院は2021年7月より
『大阪複十字病院』として
生まれ変わりました



INDEX

表紙 ▶ 大阪複十字病院

P2-3 ▶ 当院での感染症対策について

P4 ▶ 表紙写真注釈

理念：大阪複十字病院は、患者さんと共にチーム医療を行い健康を守ること社会に奉仕します



当院での感染症対策について 感染管理認定看護師の 松井看護師に聞きました

質 問：感染対策は何が大切ですか？



松井看護師からの答え

標準予防策です。

一般の皆さんには聞き慣れない言葉かもしれませんが、標準予防策とは、その名のとおり、**全ての患者さんに標準的に実施する感染対策**で、手指衛生、個人防護具（マスク・ゴーグル・エプロン）の使用から、環境整備、物品の処理など多岐にわたる対策の総称です。

新型コロナウイルス感染症は、発症する2日前から感染性がありますし、無症候感染者もいます。感染が判明してから対策を実施しても、それまでに広がっていることもあります。

そのようなことにならないためにも、新型コロナウイルスに限らず、様々な微生物による感染から医療者と患者さんを守るために、日頃からの**標準予防策の遵守**が最も重要な感染対策になります。

質 問：病院職員の感染対策について



松井看護師からの答え

6つあります。

①勤務前後に体調管理表へのチェック記入

各所属長が管理し、不調者がいれば、すぐに報告する仕組・体制を構築しています。いつもと違う症状があれば勤務せず、診察を必ず受けて、必要であればPCR検査を実施します。

②環境整備の啓発

毎日定時刻に院内放送で『身の回りの清掃・消毒やマスクの着用、咳エチケットの徹底』を呼び掛けています。

③ワクチン接種

積極的に新型コロナウイルスのワクチン接種を実施しており、ほとんどの職員が2回接種済です。

④家族以外との会食はせず不要不急の外出を避ける

⑤積極的なリモート会議の導入

密を避けるよう一部リモートで実施しています。

⑥職員一人一人が予防意識を持ち感染予防に努める

症状がなくてもコロナの可能性あります。『もし自分がコロナに感染していたら』と人に移さない行動を、呼びかけています。

飛沫予防策のため向かい合ったり近い距離では食事はしない、同じ部署以外のスタッフとの休憩は避ける、食事時間をずらす、食堂以外の場所、会議室などで食事する、など。

質 問：マスクはどれがいいの？何が違うの？



松井看護師からの答え

まず前提としてマスクは**正しく着用することが大切**です。
鼻出しマスクやあごマスクは避けましょう。
マスクの表面は触らず、清潔なものを着用してください。
マスクの種類や効果については下記もご確認ください。



■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピューター『富岳』によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量					
	100%	20%	18-34%	50%*	80%	90%*
	吸い込み飛沫量					
	100%	30%	55-65%*	60-70%*	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

■ 実験 (マスクは厚生労働省が示す正しい着用方法にもとづいています。)

※豊橋技術科学大学による実験値

さまざまな素材のマスクを着用した人頭モデルにミスト生成装置を接続し、飛沫の飛散状況をレーザー光を用いて可視化、カウントしました。吸い込み時の計測は実際に人がマスクを着用。飛沫の直径は、0.3 μ m (小さな飛沫) から200 μ m (大きな飛沫) まで計算しています。

■ 結果

吐き出し：飛沫量は不織布、布ともに8割が捕集されます。

吸い込み：不織布マスク着用時、マスクと顔に隙間がある場合でも上気道(鼻から鼻腔、鼻咽腔、咽頭、喉頭)への吸引飛沫量を1/3にすることができます。フェイスシールドにおいては、大きな飛沫(50 μ m以上の水滴)については捕集効果が見込めるが、エアロゾルはほぼ漏れてしまう。



質 問：電車のつり革は触っても大丈夫？



松井看護師からの答え

色々な人が触れる高頻度接触面です。皆が触れるところには菌がいるかもしれないと思って行動してください。**触った後の手指衛生が大切**です。

さいごに

コロナが収束しつつある今こそ、再度気を引き締めて対策を徹底しましょう。熱があるからといってコロナとは限りません。その時は受診してください。

当院での発熱外来受診方法をお知らせします。

- ① まずはお電話でお名前と熱があることお伝え下さい。担当課へ繋がります。
- ② 当院の受診歴、病状、コロナ感染者との接触の有無、折り返し先の電話番号などを確認させていただきます。
- ③ 調整後、折り返しお電話いたします。

松井看護師は寝屋川市14病院で唯一の**感染管理認定看護師**です。

これまでに寝屋川市保健所からの要請で市内の病院や施設などに直接出向いて、その施設での最善策は何かを一緒に考えて、様々な助言を行いました。

感染対策について何かお困りでしたらご相談ください。

連絡先

TEL : 072-821-4781 (代表)

感染防止対策室まで

発熱があるときは、まずはお電話ください

TEL : 072-821-4781 (代表)



新たに生まれ変わった
大阪複十字病院をこれからも
よろしくお願いいたします。

【大阪複十字病院】

表紙写真
注釈

大阪複十字病院は、1954年に(財)結核予防会大阪府支部の附属療養所として開設しました。1976年に付属療養所を廃止し、(財)結核予防会大阪府支部大阪病院を開院しました。2013年には一般財団法人への移行が認可され(一財)大阪府結核予防会大阪病院となりました。そして、2021年7月に移転し、(一財)大阪府結核予防会大阪複十字病院に名称を変更いたしました。新たに生まれ変わった大阪複十字病院をこれからもよろしくお願いいたします。



一般財団法人 大阪府結核予防会 **大阪複十字病院**

〒572-0850
寝屋川市打上高塚町3-10
TEL: 072-821-4781(代表)
FAX: 072-824-2312
URL: <http://www.osaka-hospital.org>

